湖海と火山と緑の大地が結び合い
元気をつくる交流のまち

広報 とうや湖

年の始めは年明けうどん

「うどんを食べて今年もよい年に」と1月11日、縁起ものの年明けうどんづくりが、財田自然体験ハウスで開かれました。2009年の正月から香川県のさぬきうどん振興協議会が提唱。参加した子供たちは、水合わせから、ねかせ、きる、ゆでるまでの全工程を行い、最後に自分たちで作ったうどんをおいしくたいらげました。

主な内容

●希望と感謝を胸に着飾る新成人……２ｐ
●役場からのお知らせ……３ｐ
●確かな学力の向上をめざして……４ｐ
●あなたのこころは元気ですか……６ｐ

2月
2014年
VOL.95

希望と感謝を胸に着飾る新成人

洞爺湖町成人式

洞爺湖町成人式―はばたく青春若人のつどい―が、1月12日役場防災研修ホールで開催されました。町内外から81人が出席し、二十歳の門出を祝いました。

式典では、真屋町長が「若さと行動力に大いに期待し、栄えある門出を心よりお祝いいたします」と挨拶。祝福に応えて、細江亮太さんと櫻井里衣さんが、新成人を代表して「一人の人間としての責任と自覚を持ち、社会の一員として貢献することをここに誓います」と「二十歳の誓い」を力強く読み上げました。

引続き開かれた祝賀会では、仲間や恩師との再会に旧交を温め合い、成長した姿を写真に納めていました。

最後に抽選会が行われ、商品券や町の特産品などが景品として提供され、会場を盛り上げました。

虻田中学校卒業生

洞爺湖温泉中学校卒業生

洞爺中学校卒業生

町営住宅等使用料の収納対策本部からのお知らせ

■問合せ
建設課建築・住宅グループ
☎74-3007
税務財政課財政グループ
☎74-3003

町営住宅等使用料や駐車場の使用料の滞納は、条例などに基づき対応を強化します！

町営住宅等使用料や駐車場使用料の納付は、使用者の義務であり、これらの使用料を滞納することは納付している入居者から見ると公平感を欠いていることになります。

そのため、納付催告などに応じない入居者や納付誓約を履行されない入居者に、今後次のとおり対応します。

・町営住宅入居請書に基づく連帯保証人への請求の実施（滞納額が3カ月を超える場合）
・民事調停法の規定による調停の申し立て（滞納額が6カ月又は滞納金額が20万円を超える場合）
・洞爺湖町営住宅条例などに基づく町営住宅等の明渡し請求の実施

なお、やむを得ない事情により納付が困難な方は、建設課で納付相談に応じていますので、速やかにご連絡をお願いします。

国民年金保険料のさきや免除申請ができる対象が拡大されます

■問合せ
室蘭年金事務所（お客様相談室）
☎0143-50-1004
住民課住民・戸籍年金グループ
☎74-3002

国民年金は、所得が少ないときや失業等により保険料を納付することが経済的に困難な場合、保険料の免除申請をすることができます。

これまでは、過去分の国民年金保険料の免除（※）が受けられる期間は、申請の直前の7月（学生納付特例は直前の4月）までの1年以内でした。

平成26年4月からは、申請時点の2年1カ月前の月分まで申請できるようになります。

◆ご注意ください◆

●2年1カ月前の月分まで免除申請をすることができますが、申請が遅れると万一の際に障害年金などを受け取れない場合がありますので、すみやかに申請してください。

●申請期間に対応する前年所得に基づき、審査を行いますので、免除が承認されない場合があります。

なお、全額免除と一部免除は配偶者および世帯主、若年者納付猶予は配偶者についても所得審査を行います。

配偶者や世帯主が失業などに該当する場合も免除を受けられる場合があります。

（※）免除とは、全額免除、一部免除（3／4、半額、1／4）、若年者納付猶予、学生納付特例のことです。

福祉灯油の購入助成申請を忘れてはいませんか

■問合せ
健康福祉課福祉・高齢者グループ
☎74-3001

洞爺湖町では、老人世帯・重度心身障害者世帯・ひとり親世帯などに対し、生活の一助として灯油の購入助成を行っており、昨年の11月1日から受付を行っています。

助成対象要件に該当していて、まだ申請をされていない世帯の方は、申請期限が2月28日までとなっていますので、もう一度確認のうえ申請してください。

詳細は、広報2013年11月号の10～11ページを参照ください。

不明な点がありましたら担当まで問合せください。

さくら保育所（へき地保育所）を休止します

■問合せ
教育委員会管理課
☎74-3009

洞爺地区香川で開設している「さくら保育所」は、入所児童が年々減少傾向にあり、平成26年度以降も更なる減少が見込まれています。

その中で、成長段階に応じた保育を考えると一定数の入所児童が必要ではないかとの考えから、洞爺地区高台の就学前児童を有する家庭17世帯を対象に、懇談会の開催や利用希望アンケート調査を実施してきました。

それらの結果を踏まえ、教育委員会として、平成26年度については休止の決定をしました。

なお、平成27年度以降は、入所募集により補助対象基準である6名以上が希望された場合に開設します。

保護者の皆さんや地域住民の皆さんには、今後とも保育行政についてご理解、ご協力をお願いします。

平成26年度競争入札参加資格申請書を受付けます

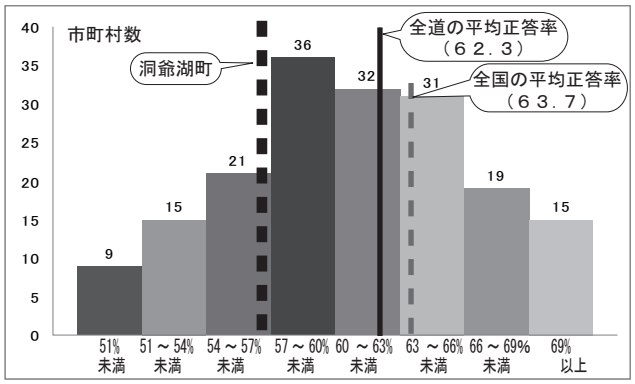
■問合せ・提出先
総務課管財・情報グループ
☎74-3000

平成26年度の建設工事、設計、測量及び道路清掃などの競争入札参加資格申請書の受付を行います。平成25・26年度の登録申請をすでに済ませている事業所は不要です。受付終了日近くには混雑が予想されますので、早めに提出してください。

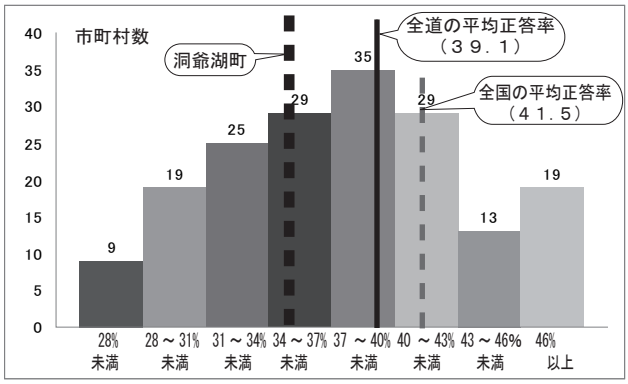
■受付期間　2月28日まで（郵送提出28日必着）
■受付時間　9時～17時（正午～13時は除く）
■申請書　（社）北海道土木協会作成の市町村統一様式

◆詳細はホームページか総務課まで連絡ください。

【中学校数学Ａ】（主として「知識」に係る問題）



【中学校数学Ｂ】（主として「活用」に係る問題）



グラフの見方

各科目の北海道平均正答率を３％ごとの階層に区分し、その階層に含まれる市町村数を示しています。■■■線は洞爺湖町、――線は北海道、－－－線は全国の平均正答率のおおよその位置を示しています。例えば、グラフ一番上の【小学校国語Ａ】問題をみると、平均正答率 57 ～ 60%未満の階層に洞爺湖町が位置し、この階層には 50 の市町村が属することを示しています。北海道の線より左側に洞爺湖町の線があり、北海道平均を下回っている状況を表しています。

小学校の結果概要

全科目を通じて、北海道平均を下回る状況となっています。昨年度は、ほぼ北海道平均に近づいていましたが、今回は北海道平均との差が広がっています。町内の学校間の差は小さくなっています。

中学校の結果概要

北海道平均を下回る状況が続いていますが、今年度は、国語Ａで北海道平均と肩を並べ、国語Ｂと数学Ｂではその差が小さくなっています。全国平均を上回る学校もあります。町内の学校間の差は小さくなっています。

子供たちに基礎学力を保障するため

学力調査は学力の一面を表すものであり、平均点を上げることが目的ではありません。子どもたちが「社会で自立して生きていくために」、「自分の将来を的確に判断するために」、基礎学力は欠かすことができません。そこに、地域間の学力差があってはなりません。子どもたちに基礎学力を保障するために、学校、保護者、地域が連携して教育に取り組むことが大切です。

平均正答率の北海道平均とのおおよその差

	小学校					中学校				
	国語		算数			国語		数学		
	A	B	A	B		A	B	A	B	
高い										
やや高い		☆		☆						
ほぼ同様（上位）	☆●		☆				☆	☆	☆	
同様（北海道平均）		●		●		☆◎				
ほぼ同様（下位）	◎		●◎	◎		●	◎		●	
やや低い		◎					●	●	◎	
低い								◎		

●胆振管内平均　◎洞爺湖町平均　☆全国平均

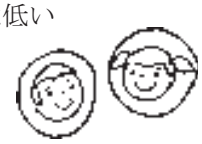
質問紙調査を通して

①毎日、朝食を食べる習慣は小中学生ほぼ同じ

小学生…86.7%　中学生…85.7%

小学生は昨年より高く、中学生は低い

②平日、テレビを見る時間が長い



（3 時間以上見る割合）

小学生…46.7%　中学生…42.9%

小中学生ともに全国・北海道より高い

③平日、テレビゲームをする時間が長い

（2 時間以上する割合）

小学生…40.0%　中学生…36.4%

小中学生ともに全国・北海道より高い。

④平日、授業以外で勉強する時間が短い

（1 時間以上する割合）

小学校…39.9%　中学校 45.5%

小中学生とも全国に比べ 20%以上低い

⑤図書館にあまり行かない

（学校図書室、地域図書館にほとんど又は全く行かない割合）

小学生…50.0%　中学生 71.4%

小中学生ともに北海道より 10%以上高い

⑥自己肯定感はやや高い

（自分には良いところがあると思う割合）

小学生…36.7%　中学生 26.0%

小中学生とも全国・北海道に比べやや高い

平成 25 年度全国学力・学習状況調査の結果概要

確かな学力の向上をめざして

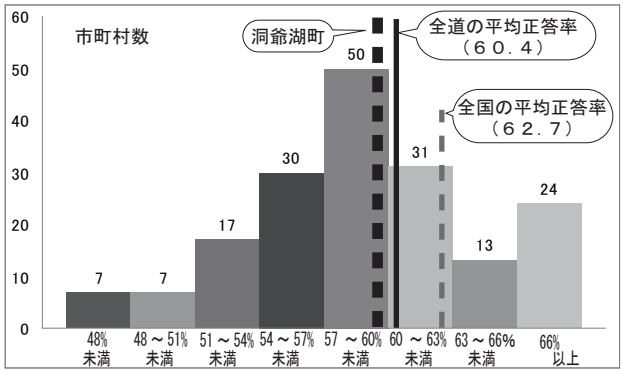
洞爺湖町教育委員会管理課　☎74-3009

調査は昨年 4 月、全国の小学校 6 年生および中学校 3 年生を対象に一斉に行われました。洞爺湖町は、小学校 3 校（60 名）、中学校 3 校（77 名）の全 6 校が参加し、「学力調査」と生活習慣、学習習慣に関する「質問紙調査」を行いました。

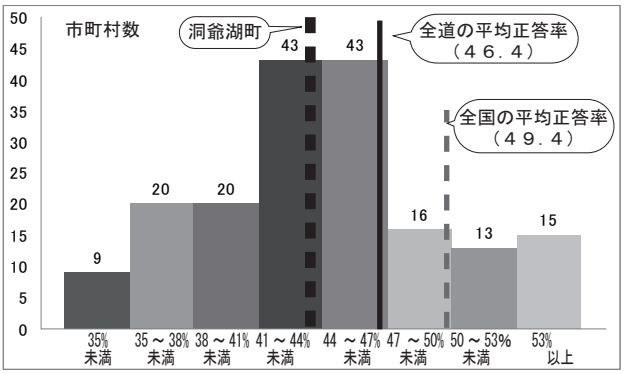
●学力調査

＜小学校＞

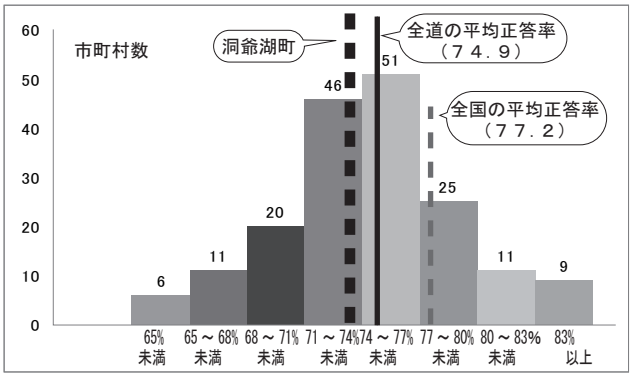
【小学校国語Ａ】（主として「知識」に係る問題）



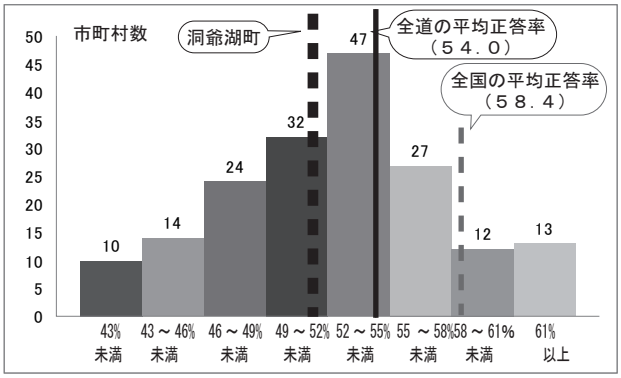
【小学校国語Ｂ】（主として「活用」に係る問題）



【小学校算数Ａ】（主として「知識」に係る問題）

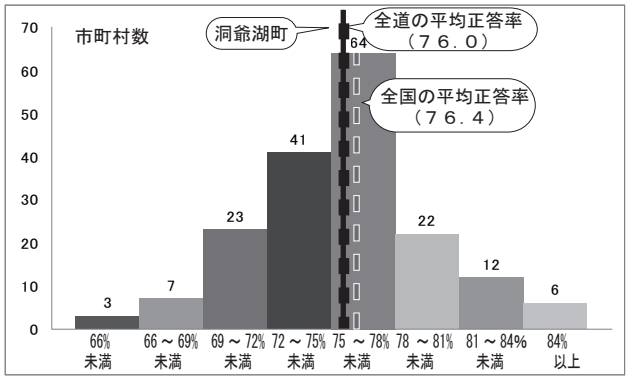


【小学校算数Ｂ】（主として「活用」に係る問題）

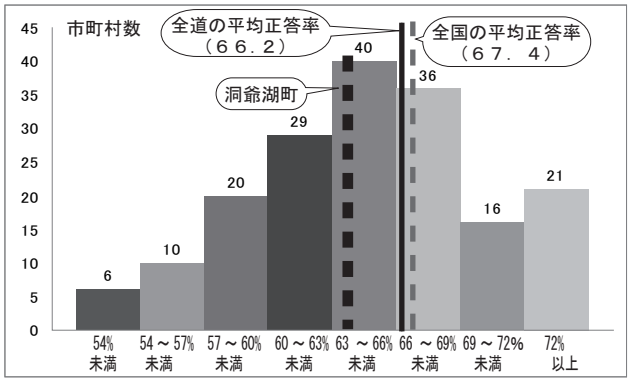


＜中学校＞

【中学校国語Ａ】（主として「知識」に係る問題）



【中学校国語Ｂ】（主として「活用」に係る問題）



地域の支えで救えるいのち

ミニ特集

あなたのこころは元気ですか

問合せ　健康福祉センター☎76－4006

洞爺湖町の自殺死亡比 全国基準上回る

毎年多くの命が自殺により失われています。

1月に警察庁と内閣府が発表した平成25年の全国の自殺者数は、2万7195人（速報値）となり、15年ぶりに3万人を下回った平成24年よりも663人減少し、北海道においても、前年より193人少ない1、244人と全体的に減少傾向にあることが明らかにされました。

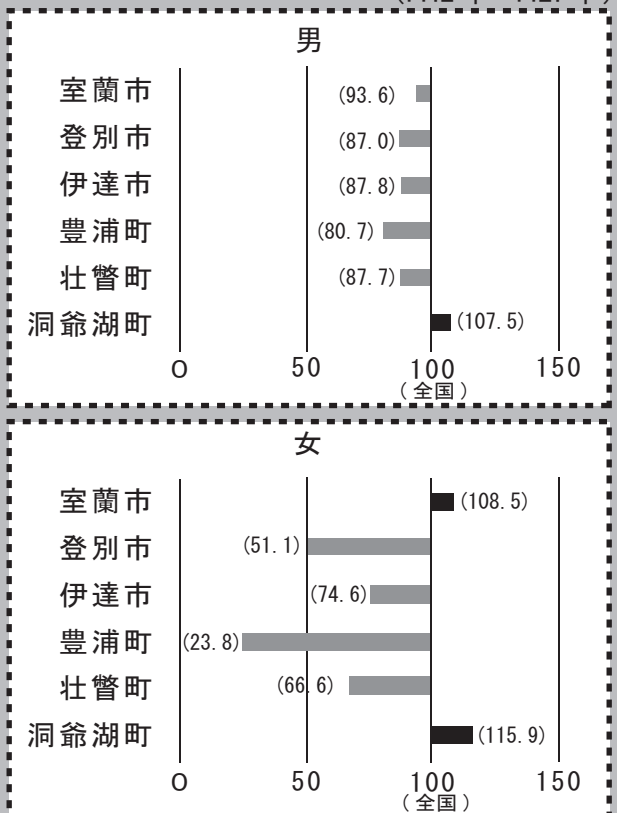
しかし、いまだ約3万人近い人が、自ら命を絶っていて、昨年の数字から計算すると、1日あたり全国で約75人、北海道では約3人の方が自殺で亡くなっていることになり、交通事故で亡くなるより多い死亡者数となっています。

洞爺湖町では、平成24年に3人が自殺で亡くなり、最新の自殺の標準化死亡比（SMR）でも110・1（警察庁発表）と全国の基準を上回っていて、特に若年者の自殺率が高くなっています。

自殺には、心や身体の健康問題、経済・生活問題などさまざまな社会的要因が複雑に関係しているとされており、当町においても深刻な状況が続いていて、大きな問題となっています。

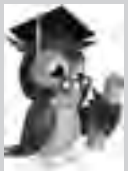
●西胆振の自殺標準化死亡比（SMR）

（H12年～H21年）



（北海道健康づくり財団ＨＰ）

標準化死亡比（SMR）とは



全国を100（基準）とした時に市町村の死亡率が、その何%に当たるかを示したものです。

市町村別に、死亡数を人口で除した死亡率を比較すると、各市町村の年齢構成に差があるため、高齢者の多い市町では高くなり、若年者の多い市町では低くなる傾向があります。

このSMRを用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正しく地域比較を行うことができます。

洞爺湖町の現状と傾向を知る（平成12年～同21年）

自殺は個人だけの問題ではありません。社会全体・地域全体の問題でもあります

▽年によってばらつきがある（平均3名、最大で8名の自殺者数がいる）
▽男性より女性の方がやや多い
▽年齢は50代が最も多く、次いで40代、20代、30代となっている
▽同居の割合が多い
▽月別では3月、5月に多く、冬期間は少ない
▽地域では本町地区が多いが、人口比率から見ると洞爺地区がやや多い

気づく

予防は可能です。身近な人が発しているサインに気づいてください

自殺を考えている人は、悩みを抱えながら何らかのサインを発しています。

一人ひとりが地域で心の病やさまざまな問題に追い詰められた人の心と身体のサインに早く気づき適切に対処していくことが、自殺防止につながります。

表の「不調のサイン」が数多く認められる場合は、危険が高まっていると考えられます。

周囲がサインに気づいたら声をかけたり相談機関の活用をおすすめします。

「不調のサイン」（自殺予防の10カ条）

①うつ病の症状（憂うつ、気分が沈む、不眠、表情が暗い）に気をつける
②原因不明の身体の不調が続く
③飲酒量が増える
④安全や健康が保てない、ささいな事故やケガが頻繁におきる
⑤仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする、職を失う
⑥職場や家庭でサポートを得られない
⑦本人にとって価値のあるもの（職、地位、家族、財産など）を失う
⑧重症な病気にかかる
⑨自殺を口にする
⑩自殺未遂に及ぶ

防ぐ

ストレスが多い現在社会ではストレスをため込まない生活を工夫することが大切です

▽悩みや不安を抱えた時には、信頼できる人に相談しましょう
▽日頃から自分の心の状態に注意し、対処していきましょう
▽自分の限界に気づき、上手な休み方を考えましょう
▽うつ病は、普段の生活で体験するストレスや病気をきっかけとして、誰もがかかる可能性がある病気ととらえてください

自分でできる「うつ」セルフチェック
～あなたは大丈夫？～

最近、こんなことが続いていませんか？

□毎日の生活に充実感がない
□以前は楽にできたことが今ではおっくうに感じる
□わけもなく疲れたような感じがする
□これまで楽しくできていたことが楽しめなくなった
□自分は役に立つ人間だとは思えない

これらのうち、２つ以上あてはまり、その状態が２週間以上、ほとんど毎日続いていて、生活に支障が出ている場合は要注意です。
（うつ対策推進方策マニュアル 厚生労働省地域におけるうつ対策検討会）

ひとりで悩まず相談してください

《心身のこと》
★洞爺湖町健康福祉センター
☎0142-76-4006
★室蘭保健所精神保健福祉係
☎0143-24-9847
《仕事のこと》
★伊達市ハローワーク
☎0142-23-2034
《生活困窮》
《障がい福祉相談窓口》
★洞爺湖町役場健康福祉課
☎0142-74-3001

さわやかだより

健康福祉センターさわやか　☎76－4006

発達障がいって何だろう？

近年、全国的に発達障がいをもつ子供が増加傾向にあり、障がいをもつお子さんが1クラスに約2人いるとも言われており、洞爺湖町も例外ではありません。場に馴染めない、同じ年齢の友達と遊べない、気持ちを切り替えるまでに時間がかかる、じっとしていられないなど、様々な問題を抱える子供たちが増えています。昔は、発達障がいについて明らかになっていない部分が多く、こうした子供たちが見過ごされてきた現状がありましたが、現在、発達障がいの研究が進み、見直しされてきていることも増加の背景の一つとして挙げられます。

発達障がいは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなど、脳機能の発達に関係する障がいです。

そのため、幼少期の育児がうまくいかなかったり、目には見えない障がいのため、行動や態度から「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。障がいの程度や特性は一人ひとり異なり、これらのタイプのうちどれにあたるのか、障がいの種類を明確に分けて診断することは難しく、障がいごとの特徴がそれぞれ少しずつ重なり合っている場合もあります。

●障がいの特性

広汎性発達障がい

自閉症
- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、こだわり

アスペルガー症候群
- 基本的には言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用

学習障がい（LD）

「読む」「書く」「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

注意欠陥多動性障がい（ADHD）
- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしていられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

※自閉症やADHDは知的な遅れが伴う場合もあります。

●早期発見・療育について

人が生きていくために必要な「社会性」は、生後9カ月頃から身についてくると言われています。発達障がいのある子供は、コミュニケーションや対人関係を築くことが苦手なため、幼稚園や小学校などの集団に入ると、さまざまな問題や困難に直面することになり、適切なサポートがされないと、学校に行くことがストレスとなり、不登校や引きこもりなどの二次障がいにつながる場合もあります。

早期発見の場として、洞爺湖町では乳幼児健診を通して、お子さんの発達を確認しています。

早めに障がいに気づき、適切な療育につなぐことで、社会に適応する能力を身につけ、さまざまな能力を伸ばしていくことができます。もし、お子さんの発達面で気になることがありましたら、さわやかまでご相談ください。

※療育＝医療や訓練、教育、福祉などを通じて、障がいがあっても社会に適応し自立できるように育成すること。

■開催期間　3月3日（月）～3月7日（金）
　　9時～17時30分
■開催場所　役場　町民ロビー

発達障がい理解促進パネル展

発達障がいの様々な特性、それらに対する支援方法やコミュニケーションの取り方などについて周知し、発達障がいへの理解を促進するため、パネル展を開催します。

この機会に、発達障がいについて、みなさんも一緒に考えてみませんか。

海難防止を祈願
虻田救難所出初式

1月６日日本水難救済会虻田救難所（高清水幸夫所長）の平成26年出初式が、あぶたふれ合いセンターで開かれ、今年1年の安全と豊漁を、参加した所員一同が祈願しました。

式では、人員報告、服装点検の後、真屋敏春監督から「虻田救難所の活動に励み、救難事業とともに漁業においてもよい年になるように願います」と訓示がありました。

来賓の挨拶を受け、高清水幸夫所長が「本年は、海難事故ゼロをめざし、平穏な1年になりますように訓練に励んでいきます」と答辞を述べ、出初式を終了しました。

出初式で答辞を述べる高清水所長

新年演芸交流大会（洞爺湖町老人クラブ連合会主催）が、1月16日洞爺湖文化センターで開かれ、カラオケや寸劇などで楽しみました。

コミカルな踊りも披露された新年演芸交流大会

参加したのは、加盟15団体約160人。

楽木同連合会会長の挨拶、真屋町長ら３人の来賓の挨拶の後、交流大会がスタートしました。

ステージでは、自慢ののどを披露する人やコーラス、コント、コミックダンスなど芸達者な皆さんの出し物が次々に披露され、会場を大いに沸かせました。

笑って新年祝う
老人クラブ新年演芸交流大会

かつて正月の娯楽の代表としてあった「下の句かるた」を楽しむ、おとなのかるた交流大会（洞爺湖スポーツクラブ主催）が、１月19日、赤川集会所で６チームが参加して、開かれました。

はりつめた空気が漂う下の句かるた大会

下の句かるたは、北海道独特の遊び方で、百人一首の下の句を読んで下の句を取りあうものです。大会は、１チーム３人で、３チームずつ２ブロックに分かれて予選を実施。

決勝は、各ブロックの同じ順位同士が戦い、勝敗を決めました。成績は次のとおり。

１位　一雄チーム　２位　いきいきクラブ　３位　町議会

懐かしい下の句かるたで熱戦
おとなのかるた交流大会

文化財防火デー
入江・高砂貝塚館で防火訓練

文化財防火デーの1月26日、入江・高砂貝塚館で、防火訓練が行われました。

館内のストーブから出火したとの想定で、警報のブザーともに避難を開始し、貴重な土器や石器などの展示品を運びだしました。屋外では、西胆振消防組合伊達消防署洞爺湖支署の消防車1台が駆けつけ放水を行い、引き続き同駐車場で参加者が消火器での消化活動を体験しました。

訓練終了後、館内で、黒曜石のナイフを使って、魚を切り身や開きにする体験を行い、三谷学芸員から、縄文人が好きな食べ物について講話がありました。最後に温かい縄文鍋がふるまわれ、縄文時代の食について理解を深めました。

放水体験をする子供たち

まちのわだい

■運転免許更新時講習日程（於：だて歴史の杜カルチャーセンター）

	優良（30分）	一般（60分）	違反（120分）	初回（120分）
3月	6日(木)18:30～/12日(水)13：30～	６日(木)19:30～	11日(火)18:30～	12日(水)14:30～

information

お知らせ

暮らし

確定申告はお早めに

◆確定申告相談会（洞爺湖温泉支所）
■日　時　2月28日（金）10時～正午・14時～16時
■会　場　洞爺湖温泉支所会議室
◆夜間の確定申告相談会
■日　時　2月19日（水）・20日（木）・3月5日（水）・6日（木）17時30分～20時
■会　場　税務財政課窓口
詳しくは、税務財政課税務グループ（☎74-3003）へ。

無料法律相談会開催

「金銭」「相続」「夫婦間」「交通事故」「消費者問題」のトラブルなどの相談に応じます。
■日　時　①2月20日（木）②3月6日（木）①と②13時30分～15時
■場　所　①あぶたふれ合いセンター②洞爺総合センター
■担　当　①増川　拓弁護士②高村真人弁護士
◆申込みは、住民課住民・戸籍年金グループ（☎74-3002）へ必ず2日前の17時までに要予約。

行政に関わるくらしの無料相談会開催

相続手続き、遺言書の作成や契約手続き、また官公署に提出する書類の作成などの相談に応じます。
■日　時　2月21日（金）9時30分～正午
■場　所　あぶたふれ合いセンター
■申込み　北海道行政書士会室蘭支部（担当後藤・☎76-3538）／住民課住民・戸籍年金グループ（☎74-3002）へ。

伊達警察署から ☎22-0110

振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺」の被害防止
①特殊詐欺の被害に遭わないために
◇突然家族から「電話番号が変わった」「お金を用立てて欲しい」という電話が来たら詐欺です。
◇医療費等の過払金がＡＴＭで還付されることはありません。携帯電話を持ってＡＴＭに行くように指示されたら詐欺です。
◇身に覚えのないパンフレットが自宅に送られて来たり、「高値で買い取る」「必ず儲かる」などと突然儲けばなしを持ちかけられたら詐欺です。
　このような電話があったら、一人で対応しないで、必ず家族や警察（警察相談専用電話＃９１１０）に相談してください。
②特殊詐欺撲滅への捜査協力依頼
　あやしい電話がかかってきた場合は、電話番号、口座番号、

心からおくやみ申しあげます

故竹田ハツヱさん
■12月７日死去
■93歳■遺族は利春さん■曙

故小林　守さん
■12月６日死去
■62歳■遺族は百合子さん■虻６区

故小林寅次郎さん
■12月５日死去
■91歳■遺族は俊雄さん■虻４区

故篠﨑　勝さん
■12月３日死去
■73歳■遺族はみき子さん■入１区

故川又耿一さん
■12月２日死去
■75歳■遺族は敏子さん■虻１区

故菊地一郎さん
■11月29日死去
■87歳■遺族は久子さん■入１区

故石垣洋一さん
■12月20日死去
■71歳■遺族は友子さん■泉区

故杉上ちどりさん
■12月20日死去
■89歳■遺族は正美さん■泉区

故髙橋フサ子さん
■12月18日死去
■92歳■遺族は和夫さん■青２区

故一条日出男さん
■12月17日死去
■64歳■遺族は昭子さん■虻６区

故鎌田東治郎さん
■12月10日死去
■89歳■遺族は山本和子さん■温５区

故吉田トクエさん
■12月９日死去
■89歳■遺族は繁章さん■虻１区

■運転免許更新時講習日程（於：だて歴史の杜カルチャーセンター）

	優良（30分）	一般（60分）	違反（120分）	初回（120分）
２月	27日(木)13:30～	27日(木)14:30～	26日(水)18:30～	12日(水)18:30～

現金の送り先などを聞きだし、電話機の録音機能などで犯人との会話を録音するようお願いします。そして、すぐに１１０番。最寄りの警察署に電話をするなどの情報提供をお願いします。

落氷雪による事故防止

２月は、寒暖の差が大きくなり、氷のようになった屋根の雪が落ちて下敷きになったり、屋根の雪下ろし作業中の転落や除雪機に巻き込まれるなどで尊い命を落とす事故が発生しています。

次のことに注意しましょう。①屋根の雪やつららを早めに下ろしましょう②危険な軒下を歩かないようにしましょう③子ども達を落氷雪の危険がある場所で遊ばせないようにしましょう④雪下ろしは転落防止用ロープ等を装着しましょう⑤除雪機による除雪は安全を確かめながら行いましょう

洞爺湖町長選挙立候補予定者説明会の開催

平成26年4月13日に執行される洞爺湖町長選挙に立候補を予定している方に対し、選挙運動や立候補届出などに係る説明会を開催します。

■日　時
2月25日(火)　10時～

■場　所
役場3階防災研修ホール

■その他
説明会会場への入場は1候補者につき2名まで、資料の配布は1部とさせていただきます。

総務課庶務・職員グループ（☎74-3000）

渡島東沿岸海岸保全基本計画変更案の縦覧について

北海道では、渡島東沿岸海岸保全基本計画の変更に当たり、住民の皆さんのご意見を募集します。計画変更（案）を縦覧しますので、ご意見がある場合は、各縦覧場所の担当課に提出してください。

■縦覧期間
２月５日（水）から３月６日（木）まで

■縦覧及び意見提出場所
役場建設課・胆振総合振興局産業振興部水産課・農村振興課、同室蘭建設管理部用地管理室管理課

■意見締切日
３月11日（火）

■問合せ
胆振総合振興局室蘭建設管理部用地管理室管理課第２係（☎0143-24-9872）

催し

さわやか料理教室 ☎76-4006

①ほたて料理教室
浜のお母さんに、洞爺湖町産のおいしいほたてを使った料理を教えてもらいましょう

■日　時　３月５日(水)　13時30分～

■講　師　いぶり噴火湾漁協虻田女性部

■申込み　２月28日(金)まで

②地場産品料理教室
地元の食材を使った料理を教えてもらいましょう!!料理のレパートリーがふえますよ～

■日　時　３月25日(火)　10時～

■講　師　依田信之さん（ホテルニュー洞爺湖）

■申込み　３月20日(木)まで

◆①②共通

■会　場　健康福祉センターさわやか

■持ち物　エプロン・髪をおおうもの（バンダナなど）・ふきん（２～３枚）

■参加費　５００円

■定　員　25名（定員になり次第締切り）

※町民カレッジ対象事業です。手帳をお持ちください。

寄付

善意のご寄付ありがとうございます。

●町への寄付
▽増川　拓さん（室蘭市）

●社会福祉協議会
〈歳末助け合い〉▽明るい社会づくりを推進する会は２万円▽泉クラブは９千８０３円▽民生委員児童委員一同は３万８千円▽連合洞爺湖支部は５万円
〈愛の小箱〉▽ウロコ㈱虻田支店は１万４８３８円
〈寄付物品〉▽北山勝二さん（入１区）▽坂井千枝さん（温３区）▽岡田光弘さん（入４区）▽内田誠一さん（青２区）

大島町への災害義援金の送付

台風26号の大雨による土砂災害で、甚大な被害を受けた東京都大島町を支援するため、昨年の10月25日から役場、各支所の窓口に義援金箱を設置し、義援金のご協力をお願いしてきました。昨年の12月30日までに、１万１５７１円の義援金が寄せられ、同町へ送金しました。町では、これをもって義援金の受付を終了しました。これまで被災地の皆さんへ温かいご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

三豊市の特産品販売

現在、町内にある道の駅などの地場産品を提供している店舗で、洞爺湖町と友好都市の香川県三豊市の特産品を販売しています。販売しているのは、道の駅あぷた、道の駅とうや湖、洞爺水の駅、とうやマルシェ。

各店舗では、三豊市特産の竹の子や唐辛子を使ったとても美味しいみとよ竹の子、本鷹なめたけ、なめたけ珍味（松茸入）などを揃えています。今後も三豊市の季節毎の特産品を販売していく予定でいますので、是非、各店舗にお越しください。売切れの際はご容赦ください。

詳しくは、産業振興課水産・商工グループ（☎74-3005）へ。

読書の家から

新刊案内

■あぶた読書の家

〈一　般〉▽3・11行方不明その後を生きる家族たち（石村博子）▽編み物ともだち（三國万里子）▽1～5玉で編める冬のこもの（リトルバード編）▽四十九日のレシピのレシピ（なかしましほ）▽山本周五郎長編小説全集全26巻　第八巻、第九巻、正雪記〈上・下〉

〈児童書〉▽いじめっこ（ローラ・ヴァッカロ・シーガ☒）▽捨て犬未来に教わった27の大切なこと（今西乃子）▽ネコがすきな船長のおはなし（インガ☒・ムーア／たがきょうこ訳）▽最初の質問（長田弘／いせひでこ）▽つるばら村の魔法のパン（茂市久美子）▽クリスマスのおかいもの（たしろちさと）▽ゆきだるまのクリスマス！（キャラリン・ビナー／マーク・ビナー）▽クリスマスのふしぎなはこ（長谷川摂子／斉藤俊行）▽ぼくおかあさんのこと／よるくま／よるくまクリスマスのまえのよる（酒井駒子）

■みずうみ読書の家

〈一　般〉▽疾風ロンド（東野圭吾）▽〇に近い△を生きる（鎌田實）▽黒書院の六兵衛〈上・下〉（浅田次郎）▽蛍の森（石井光太）▽私のなかの彼女（角田光代）▽いにしえの光（ジョン・バンヴェル）▽九転十起（出町譲）▽83歳の女子高校生球児（上中別府チエ）▽虹・つどうべし（玉岡かおる）▽モンテ・クリフト伯2～4（アレクサンドル・デュマ）▽「粗食」のきほん（佐藤初女他）▽町村合併から生まれた日本近代（松沢裕作）▽成長から成熟へ（天野祐吉）▽観光経営学（岡本信之）

〈ロータリー文庫〉▽足元の小宇宙（埴沙萌）▽聞き書き震災体験（とうしんろくプロジェクト）▽図説　火山と人間の歴史、地震と人間の歴史、火と人間の歴史（ジェイムズ・ハミルトン、アンドレ・ロビンソン）▽世界で一番美しい樹皮（セドリック・ポレ）▽ZOOM大図鑑（マイク・ゴールドスミス他）

●開館時間
午前10時より午後4時20分まで

●2月休館日
11日・13日・20日・27日・3月6日
（毎週木曜日・祝祭日休館）

あぶた読書の家☎76-2100
みずうみ読書の家☎75-4702

今月の1冊

ツリーハウス

作 ロナルド・トルマン
作 マライヤ・トルマン

ボローニャ国際児童図書賞、金の絵筆賞、トロイスドルフ絵本賞など世界各国で受賞した絵本です。幼児～大人まで　文字の無い絵本です。

ツリーハウスをめざして、いろいろな動物がいろいろなところからやって来る。

自分たちでおはなしを考えて作り上げてください。

ピノキオ読み聞かせ会

■日　時　3月7日（火）　14時30分～
■場　所　あぶた読書の家

わたしのうた

俳句【あぶた俳句会】一月定例会

重箱を片づけている冬うらら　三瓶　修
雨音はやさし冬至の椀を吹く　那須　玲子
冬うらら山々逆さ映る湾　小笠原　勇
熱き茶のこぼれて弾む冬の旅　菅原　敏子
冬うららパワースポットの杜かな　矢野　知子

◆パワースポットの杜…利尻富士～羊蹄山～駒ヶ岳を結ぶ一直線がパワースポットになっていて、虻田神社がそのライン上にあることから、若者が多く同神社を訪れている。

後期高齢者医療制度のお知らせ

■住民説明会の開催について

平成 26 年度から２カ年の後期高齢者医療保険料率について、北海道後期高齢者医療広域連合職員による住民説明会を開催します。

■日　時　3月7日（金）　14 時～ 16 時まで
■場　所　洞爺湖町役場３階　防災研修ホール
■内　容　後期高齢者医療制度の概要、医療給付及び平成 26 年度から２カ年の保険料率等について
北海道後期高齢者医療広域連合の保健師による健康講話
■その他　事前予約は必要ありません。
■問合せ　住民課 国保医療グループ
☎ 74－3002

消防だより119

無火災・無災害を祈り、新春恒例の出初式

平成26年1月5日（日）、洞爺湖文化センターにおいて洞爺湖消防出初式（西胆振消防組合洞爺湖消防団・洞爺湖支署主催）が行われました。

洞爺湖町の無火災・無災害を祈り消防職員・団員が、本町・温泉・洞爺の各地区で町民へ防火意識の高揚を訴え、消防車両によるパレードが行われ、式典では、永年にわたる消防団活動に功績のあった団員へ表彰状が授与されました。

また、洞爺湖町長の式辞をはじめ、ご来賓の方々より日頃の消防活動に対する感謝と激励の言葉を頂き、出席者らは今年一年の防火・防災を誓い、地域の安全を祈願しました。

防火意識の高揚を訴える消防車両のパレード

今年１年の地域の安全を祈願した消防出初式

平成26年消防出初式の表彰者は次のとおりです。（敬省略）

■日本消防協力表彰
永年勤続功労者表彰（50年）
団長　寺島　勉（団体部）

■北海道知事表彰
勤労章（20年）
団員　伊藤重一（第一分団）／団員　内海雅仁（第一分団）／団員　三島基幸（第一分団）
表彰状（10年）
班長　荒町　誠（第二分団）／団長　佐長　稔（第三分団）

■北海道消防協会表彰
功績章
副団長　荒　哲雄（団体部）／分団長　森元　司（第一分団）
勤続章（30年）
班長　秋山祐司（第一分団）
勤続章（10年）
団員　廣島光敏（第三分団）

■西胆振消防組合管理者表彰
勤続章（30年）
班長　秋山祐司（第一分団）

消防水利周辺に駐車をしていませんか？

皆さんは『消火栓』や『防火水槽』をご存じですか？これらの消防水利は、住宅火災などの際、消火活動に必要な水を消防隊に供給する大切な施設です。

消防水利は、いつ・どこで火災が発生しても直ちに対応できるよう、消防署で定期的に防雪や点検を行っていますが、『消火栓』や『防火水槽』付近へ駐車している車両が火災時の消火活動に障害となるケースも発生しています。

雪により道幅が狭くなるこの季節、一刻を争う消防活動に皆さんのご理解とご協力をお願いします。

また、消防水利付近にお住いの皆様には、大変お忙しい中、消防水利除雪へのご協力を頂き誠に有難うございます。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

西胆振消防組合ではホームページを開設しています

各種試験案内・講習会のお知らせ、住宅用火災警報器設置や消火器点検内容、各種届出・申請様式（ホームページからダウンロードできます）などが掲載されています。

今後、利用者の利便性を考慮しながら内容を充実していきますので、ぜひ、ご活用ください。

西胆振消防組合ホームページアドレス http://www.6.ocn.ne.jp/~nfd119/index.html

統一標語
「消すまでは
心の警報
ONのまま」

fire

平成25年1月1日～12月31日現在
●火災件数　3件
●救急件数　485件

あがた福祉会

第37回

力を合わせて　力いっぱい

～ライオンズクラブ交流会～

11月17日、ライオンズクラブの皆さんのご好意で、清水友愛の里において交流会が行われました。

今年度の交流会は、餅つきを行い、つきたての餅で作った食事を楽しみ、会食後はカラオケを行いました。

利用者と職員が餅をつき、ライオンズクラブの方が餅を返し、息を合わせての作業は、まさしく交流…親睦を深めることができたように感じました。餅のつき方が分らず力が入りすぎてしまう利用者、杵が重く振り上げてることができずに職員が支えながらつく利用者など様々ではありましたが、全員が餅つきを体験することができました。

ライオンズクラブとの交流会

餅は3回に分けてつき、仕上げはライオンズクラブの皆様についていただき、その餅を小さく丸め、お汁粉として美味しく頂きました。お汁粉の他にも食事はとてもボリュームがあり皆さん大満足のようでした。

食後のカラオケは、お菓子を用意し、食べながら楽しむことができるように進めていきました。

カラオケを聴いて楽しんでいる方、お菓子に夢中になっている方と楽しみ方はそれぞれでしたが、歌う曲がなかなか決まらず、悩んでいる間に交流会が終わってしまった方もいました。カラオケはあらかじめ歌う方を決めていましたが、皆さんカラオケが好きなので歌いたい方が多く、限られた時間ではありますが、もっと多くの人達が歌うことができるような配慮も必要であったように感じました。最後にはライオンズクラブの方と一緒に合唱をし、大盛況の中で終了しました。

毎年恒例となり、利用者の皆さんも楽しみにしている行事でもありますので、いつまでも継続していただければと思います。

最後に、ライオンズクラブの皆様にはありがとうございました。今後とも宜しくお願いいたします。

（支援員　Y・K）

あすなろパンが好きだから

～パン体験～

1月14日、小学生を対象としたパン体験を開催しました。

今までの中で、一番参加者が多い1年生から6年生、21名が参加しています。

年に2回、利用者とパン体験の参加を呼びかけていますが、毎回多くの参加者に来て頂いていることに感謝申し上げます。

今回は喫茶店あるそ～れの人気NO1のメロンパンをはじめ、生地をソーセージに巻き付けて成形するソーセージパン、生地の中に栗の餡を入れて栗の形に似せて成形するくりパン、その他に自分たちの好きなパン6種類を作りました。

最初のうちは緊張していた参加者も、パン体験が始まると、時間の経過と共に明るい表情に変わっていき、積極的にパン作りを行っていました。

低学年の参加者には、高学年のお兄さんお姉さんが親切に教えてあげる様子が見られました。中には兄弟、姉妹で参加される方も何組かいました。お母様方の見学もあり、心配そうに見つめておりましたが、本人は物怖じせずにパン作りに夢中になっていました。

パン作りを体験した子供たち（写真提供・室蘭民報社）

最初は成型に苦戦していましたが、利用者が見本を見せることや、手直しをすることで美味しそうなパンが焼きあがりました。

参加者からは『あすなろのパンが好きだからパン体験に来た』『作ったパンをお兄ちゃんに持って帰る』との声も聞かれました。家で待っている家族に自分の作ったパンを食べてもらいたいという参加者が多く、帰りには焼きたてのパンを嬉しそうな表情で持ち帰りました。パン体験の参加者である小学生たちが、あすなろの宣伝役になっているかもしれません。

利用者、職員共に今後も多くの方の参加をお待ちしております。

（支援員　M・S）

人

町に墨絵を寄贈した
北海道趣墨会洞爺湖支部長

小杉　徳芳さん（87歳・入4区）

NPO法人国際文化芸術協会（高尾　桂会長）が、絵画を継続して町に寄贈してきましたが、同会の依頼で、今年の干支である午の絵を作成しました。

老人クラブでの絵手紙講習会で、高尾会長と出会い、水墨画を知り、描き始めたのが80歳。以来、月2回の趣墨会の活動を行いながら、30点以上の作品を描きあげてきました。

道東の白糠町生まれ。郵便局に勤務し、札幌の新琴似一条郵便局長を退職した後、豊浦町の教員をしていた子供の勧めもあって旧虻田町に移住。

それまで全く筆を持ったことがなかったが、老人クラブの活動を通して、絵手紙、墨絵と描くことの楽しさを知りました。

水墨画は特に「いったん筆を下ろすとやり直しがきかないし、世界が基本的に白と黒しかないので難しい。そこがおもしろい」と魅力を語ります。

地域の老人クラブの会長、週2回の卓球サークルでの活動と元気一杯。

これからも「若い人に墨絵を広げていきたいし、自分も元気なうちはずっと描いていきたい」と話します。

金比羅火口付近

100度の地熱水発見
地熱発電事業の成功へ

洞爺湖温泉利用協同組合（若狭洋市代表理事）は1月16日、地熱資源調査掘削工事を行った結果、揚湯試験で約100度の地熱水がくみ上がっていることを、開催した見学会で関係者に明らかにしました。

昨年の10月7日から、有珠山の金比羅火口近くの町有地で、経済産業省、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）からの交付金を受けて、地下約1、430㍍まで調査掘削を行ってきました。

くみ上げ試験では、298㍍地点から約100度の地熱水が毎分250㍑湧出し、地下850㍍では、更に高温の130度を確認しました。

概要を説明した道立総合研究機構地質研究所資源環境部の高橋徹哉研究主幹は「いままでは四十三山周辺から井戸を掘ってきて、金比羅火口近くは初めての調査。予想以上の成果があった。この地域での高温の温泉資源の発見は、資源の衰退化の中で、今後に向けて意義深い」と話します。

若狭代表理事は「宝の山を得ることができた。なんとか事業の成功に結びつけたい。二次利用についても考えていきたい」と喜びを語り、真屋町長は「ジオの恵みとして、この資源を大切に守っていきたい」と話しました。

くみ上げられた100度の地熱水

広　告

ジオパーク通信

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会だより

第20号
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
（洞爺湖町役場ジオパーク推進課内）
☎ (0142) 74－3015

洞爺湖有珠山地域には、火山活動で生まれた地形がたくさんありますが、夏の間は植物におおわれ、見えない場所もあります。そんな場所でも、冬になると葉が落ち、夏の間見えなかった火口の姿や起伏が分かりやすくなります。今月は、冬の風景を楽しむ時に役立つ「スノーシュー」を紹介します。

大人用の大きさは約 70 ㎝ほど

裏には滑り止めの金具つき

雪原の中を楽に移動できます

スノーシューは、雪の上を歩くための道具。かんじきに似ています。
かんじきとちがうのは、枠の中にプラスチックシートが張られていること。
これが体重を分散させ、ふわふわの雪の上でも沈まず歩くことができるのです。
長靴の上からでもつけられるから、とってもかんたん。
スノーシューをはいて、冬ならではの風景を見に行きませんか？

★洞爺湖周辺地域を満喫したい！という方は

洞爺湖の自然を満喫　ガイドウォーク　問合せ先：洞爺財田自然体験ハウス ☎（0142）82-5999

自然体験ハウスのスタッフと、洞爺湖町財田（たからだ）地区の湖畔や森の中を歩きます。起伏の少ない場所なので初心者にぴったり！スノーシューは無料で借りられるので、お気軽にどうぞ。

洞爺湖スノーシューツアー　問合せ先：洞爺ガイドセンター ☎（0142）82-5002

森や湖畔など、スノーシューをはいて絶景ポイントへ。プロガイドが案内してくれます。有料です。

★豊浦町・伊達市大滝を満喫したい！という方は

NPO 法人自然体験学校（洞爺湖・豊浦校）　問合せ先：自然体験学校 ☎（0142）83-7040

冬季のアウトドアメニュー「オオワシ・オジロワシガイドツアー」のほか、スノーシュー体験も相談に乗ってくれます。有料です。

神秘の洞窟　大滝氷筍（ひょうじゅん）探訪

問合せ先：大滝アウトドアアドベンチャーズ ☎（0142）68-5180

洞窟の中などで、下から上にのびているつらら、「氷筍（ひょうじゅん）」。スノーシューをはいて森の中を歩き、洞窟内の氷筍を見学します。私有地を通るため、行きたい方は必ずガイドをお願いしてください。有料です。

2月の健康・子育て・イベントカレンダー

日（曜）	行　事	時　間	場　所
12日（水）	献血		虻田地区
	保育所開放	10:00～11:30	入江保育所（☎76−4317）
14日（金）	洞爺地区健康相談	9:30～11:30	洞爺総合支所（☎82−5111）
	保育所開放	10:00～11:30	本町保育所（☎76−2673）
	特定健診、胃・大腸・前立腺がん検診		健康福祉センター（☎76−4006）
15日（土）	歩くスキー	9:00～12:00	花和特設コース（社会教育課☎74−3010）
	親子食育料理教室	10:00～13:30	洞爺総合センター（健康福祉センター☎76−4006）
19日（水）	保育所開放	10:00～11:30	桜ケ丘保育所（☎75−2088）
20日（木）	介護予防講演会	13:30～15:30	役場防災研修ホール（地域包括支援センター☎76−4822）
21日（金）	洞爺地区健康相談	9:30～11:30	洞爺総合支所（☎82−5111）
	親子ふれあい遊び	10:00～11:30	健康福祉センター（☎76−4006）
26日（水）	げんきクラブ（虻田地区）	13:30～15:30	健康福祉センター（☎76−4006）
27日（木）	乳児健診	14:30～	洞爺ふれ愛センター（健康福祉センター☎76−4006）
	女性学級	13:00～15:00	役場防災研修ホール（社会教育課☎74−3010）
28日（金）	洞爺地区健康相談	9:30～11:30	洞爺総合支所（☎82−5111）
	保育所開放	10:00～11:30	本町保育所（☎76−2673）
3月3日（月）	健康づくり講演会	13:30～15:00	健康福祉センター（☎76−4006）
5日（水）	保育所開放	10:00～11:30	本町保育所（☎76−2673）
	ほたて料理教室	13:30～15:30	健康福祉センター（☎76−4006）
	げんきクラブ	13:30～15:30	洞爺ふれ愛センター（☎82−5185）
6日（木）	1.6歳児・3歳児健診	12:45～	健康福祉センター（☎76−4006）
7日（金）	洞爺地区健康相談	9:30～11:30	洞爺総合支所（☎82−5111）
	保育所開放	10:00～11:30	本町保育所（☎76−2673）
8日（土）	図書室子どもまつり	9:00～12:00	洞爺総合センター（社会教育課☎74-3010）
9日（日）	ふれ合う心の文化広場	12:00～	洞爺湖文化センター（社会教育課☎74-3010）

第40回記念大会

世界ジオパーク認定地　洞爺湖有珠山ジオパーク

洞爺湖マラソン2014

■日　程　5月18日（日）

前大会の参加者は7,000人を超え、年々参加者が増加しています。今年は、各種目に定員を設けましたので、参加希望の方は、お早目にお申し込みください。

■参加申込（定員になり次第締め切ります。）
①郵便振替　2月17日（月）～2月28日（金）当日消印有効
②ネット　2月17日（月）～3月14日（金）

種　目	定　員	参加資格	参加料
マラソン	4,500人	18歳以上（高校生以下は除く）	5,000円
10km	1,500人	高校生以上	4,000円（高校生2,500円）
5km	500人	中学生以上	4,000円（中・高校生2,500円）
2km	500人	小学生	2,000円
		親子（子は小学生）	4,200円

特別ゲスト

赤羽有紀子さん

■申込用紙配置場所
①洞爺湖町役場
②洞爺湖温泉支所
③洞爺総合支所
④母と子の館
⑤虻田ふれ合いセンター

■問合せ
〒049-5721　洞爺湖町洞爺湖温泉142番地　洞爺湖観光情報センター内
洞爺湖マラソン実行委員会事務局（観光振興課内）
☎0142-75-4400　FAX0142-75-4704

とうや冬まつり

■日　時　2月16日（日）
10時～14時

■会　場　とうや水の駅

■内　容　ビッグ滑り台でのそり遊び・ビンゴゲーム・餅まきなど

■問合せ
とうや冬まつり実施委員会
（青野・☎090-9529-7918）

広報とうや湖
発行日　平成26年2月10日
通巻／第95号

ヘルスメイトの会

代表　菊地澄子さん　会員15人

仲間の輪

ヘルスメイトの会は、旧洞爺村が主催して、平成13年度から15年度まで3期にわたって開催された食生活改善推進員養成講座を受講した人たちによって結成されました。当初は、各期の修了生ごとに独自で活動していましたが、平成21年から、修了生全体でいっしょに活動を行うようになりました。

ヘルスメイトとは、「食生活を改善する人」を意味し、家庭の食卓の充実から、地域の健康づくりへ広げていくことを目的に、11月から2月まで冬期間活動しています。

今年度のテーマは、「若さと美しさを保ち、健康的な食生活を目指そう！」。

町の健康実態をふまえて、健康的な食生活のためのレシピ作りとして、糖尿病や高血圧予防の献立を作成し、調理実習を実施。また平成19年から継続している小学生を対象にした「親子食育料理教室」を開催します。

会員の皆さんは「いろんな情報やレシピを知ることができる」「自分たちの作った野菜を使って、献立を作り、調理するのが楽しい」と活動の魅力を話します。

同会では、子育て世代の若いお母さんの入会を期待。また、一人になった時に困らないよう男性料理教室の開催などで地域に貢献していきたいと考えています。

興味、関心のある方は、健康福祉センターさわやか（☎76-4006）へ連絡ください。

今月のワンショット

手際よく調理を行う男性料理教室の参加者
（洞爺湖町食生活改善推進員協議会主催）

東奔西走

金比羅火口近くで、地熱資源調査の揚湯試験見学会があり、100度近い地熱水がくみ上げられていました。今まで有珠山で掘削してきた中で、こんな高温は初めてだそうで、会場では「お宝の出現」に喜びが溢れていました。

高温の地熱水でゆでられた温泉たまごも配られ、おいしくいただきました。　(H.O)

人口と世帯の動き 12月31日現在（先月比）

男……4,527人（△19）
女……5,254人（△ 7）
計……9,781人（△26）
世帯……5,140世帯（△ 8）

■編集・発行／洞爺湖町総務部企画防災課企画　防災・広報統計グループ〒049-5692 洞爺湖町栄町58番地
☎0142-74-3004　FAX0142-74-2121 ホームページアドレス http://www.town.toyako.hokkaido.jp/ ■印刷　文栄堂印刷